

強粉質の短節間品種、食味良く貯蔵性抜群

栗のめぐみ2号

※品種登録出願番号：：第37608号

農研機構 北海道農業研究センターとの共同開発品種

「海外持出禁止」

強粉質でおいしい、
貯蔵性も抜群



【特 徴】

- ・放任栽培が可能で栽培容易な短節間品種。株元近くに着果して安定肥大する
- ・果重は2.0～2.5kgと玉肥大がよく、果皮色は濃緑で果実の日焼けが出にくい
- ・肉質は強粉質のメルティング質でおいしい
- ・収穫1ヵ月後以降から出荷。貯蔵性よく、2ヵ月以上の貯蔵が可能
- ・草勢は非常に旺盛。元肥は窒素成分で10-12kgを目安とする
- ・交配後50-55日を目安、積算温度1,000度で収穫できる中晩生品種

【栽培のポイント】

- ・密植（800本/10a）を目安として放任栽培で省力と多収の両立が可能
- ・肥料には鈍感で、より多収を目指した多肥栽培（窒素分20kg～/10a）でも着果性落ちない
- ・従来品種と比較して短節間性が強く初期の蔓伸びは極めてゆっくりとなる

【適作型】

